

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 58-053525

(43)Date of publication of application : 30.03.1983

(51)Int.Cl.

B60N 1/06
A47C 7/14

(21)Application number : 56-152536

(71)Applicant : MAZDA MOTOR CORP

(22)Date of filing : 25.09.1981

(72)Inventor : MAEBAYASHI JIRO

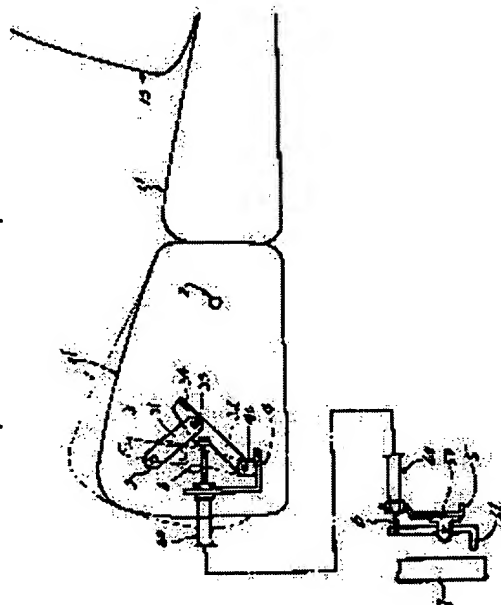
(54) SEAT FOR AUTOMOBILE

(57)Abstract:

PURPOSE: To prevent the buttocks from slipping and to enable to display the function of a passive belt sufficiently, by lifting a side support by a detected signal of a collision detector provided on a seat.

CONSTITUTION: A seat consists of a front seat 1, a rear seat 11 and a seat back pad 13, and the front seat 1 is supported rotatably by a hinge shaft 2. A shaft 3 of a side support is supported by a link 31 connected with a link 32 and the link 32 fixed on a stationary component 4. One end of an outer cable 60 is fixed to the stationary component 4 and the other end of the same is fixed to a stationary component 5. An actuation component 61 to be arranged in confrontation to a bumper of an automobile is fixed to the stationary component 5

rotatably and the actuation component 61 is connected with the link 32 by an inner cable 6 which slides inside the outer cable 60. When the automobile is collided with something, a cable 6 is pulled toward the left through the movement of a bumper 7. With this, the links 31 and 32 line up in a straight line, the shaft 3 is lifted centering around the hinge shaft 2 and the front of the seat 1 is lifted.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—53525

⑪ Int. Cl.
B 60 N 1/06
A 47 C 7/14

識別記号 庁内整理番号
8008—3B
7309—3B

⑬ 公開 昭和58年(1983)3月30日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 自動車シート

⑮ 特 願 昭56—152536
⑯ 出 願 昭56(1981)9月25日
⑰ 発 明 者 前林治郎

広島県安芸郡府中町新地3番1

号東洋工業株式会社内
⑱ 出 願 人 東洋工業株式会社
広島県安芸郡府中町新地3番1
号
⑲ 代 理 人 弁理士 小谷悦司 外1名

明 細 書

1 発明の名称
自動車シート

2 特許請求の範囲

1 サイナポートを上昇させる機構を有する自動車用シートにおいて、自動車の衝突を検出する衝突検出装置を設け、上記検出装置の検出信号でサイナポートを上昇させる機構を作動させてシート前縁を上昇させるように構成したことを特徴とする自動車のシート。

3 発明の詳述な説明

この発明は自動車のシートの改良に関するものである。

自動車の運転席には、通常2点バッシュベルトが設けられ、これによって自動車の衝突時に運転者が前方に投げ出されるのを防止するようにしている。しかしながら、衝突時には尻部が前方にずれて体がベルトの下方にずれる、いわゆるサブライン現象は避けられず、このため運転者を保護す

る機能が不充分であった。

この発明はこのような従来の欠点を解消するためになされたものであり、シートによって尻ずれを防止し、これによってバッシュベルトがその機能を充分に発揮できるようにしたものである。

以下、この発明の実施例を図面によって説明する。1は前座シート、11は後座シート、15は背当てであり、前座シート1の後部は回転軸2によって支持されかつ回転軸2を中心に回転可能に構成されている。また図示しないサイナポートには軸3が取付けられ、固定部材4に取付けられたリンク32およびこのリンク32にピン33を介して連結されたリンク31によって上記軸3が支持されている。固定部材4にはアウターケーブル60の一端部が取付けられ、アウターケーブル60の他端は固定部材5に取付けられている。また固定部材5には車のベンチ7に対向して配置された作動部材61が軸50周りに回転するように取付けられている。アウターケーブル60内を移動するインナーケーブル6の一端はリンク32に連結され、他端は作動部材61に連結されている。

上記構成において、通常は突如に示す状態に保持されている。そして車が衝突するとパンパが図示の右方向に移動するために作動部材61を圧して作動部材61を反時計方向に回転させ、インターケーブル6を左方向に引張る。これによってリンク32がピン40周りに反時計方向に回転し、リンク31を軸3周りに時計方向に回転させ、リンク32に突設したストッパ34にリンク31が当ることによって反転部で示すようにリンク32、31が直線状になり、その結果軸3が上昇して前部シート1の前方を上昇させる。すなわち前部シート1は枢軸2を中心に時計方向に回転して反転部で示す状態となる。このため運転者の尻部が衝突の際に前方にずれるのが防止され、サブマリン現象が防止される。

なお、サイヤポートを上昇させる機構は上記のような一対のリンクとケーブルによるものの外に種々のものが採用可能であり、例えば油圧シリンダ等を用いた機構を採用してもよい。またシートを前部と後部とに分割せず一体のものとし、そ

の後端部を回転中心として前部部を上昇させるようにしてもよい。また衝突検出装置もパンパを用せず、Gセンサー等を用いてもよく、衝突の検出信号を電気的に伝達してマイヤポートを上昇させる機構を作動させるようにしてもよい。

以上説明したように、この発明は自動車の衝突を検出してその検出信号でシート機構を上昇させるようにしたものであり、運転者の尻ずれを防止することができるためにサブマリン現象が防止でき、このため2点バックシートの機能を良好に発揮させることができるものである。

4. 図面の簡単な説明

図面はこの発明の実施例を示す概略説明図である。

1…前部シート、2…枢軸、3…軸、4、5…固定部材、6…インターケーブル、7…パンパ、61…作動部材。

特許出願人 東洋工業株式会社
代理人 弁理士 小谷 悦 司

